

令和8年度基礎研究医プログラムの 内定状況等について

基礎研究医プログラムの概要

我が国の国際競争力は、基礎医学論文数の観点からも、相対的に低下傾向であり、基礎医学系の大学院博士課程入学者に占める医師免許取得者の割合を高める必要がある。

このため、令和4年度研修から、基礎医学に意欲がある学生を対象とした**臨床研修と基礎研究を両立**するための**基礎研究医プログラム**を開始する。

基礎研究医プログラムの定員は、**一般の募集定員とは別枠の定員を設定**し、一般のマッチングに先行して選考する。

基礎研究医プログラムの概要

- 直近5年間の研修医の採用実績が平均20人以上の基幹型臨床研修病院である大学病院（本院に限る）
- 基幹型臨床研修病院の開設者は、基礎研究医プログラムの開始年度の前々年度の10月31日までに、都道府県知事に届出
- プログラムは以下の要件を満たすものであること
 - (i) プログラム開始時に、所属する基礎医学の教室を決定し、オリエンテーションを行うこと
 - (ii) 選択研修期間に、16週以上、24週未満の基礎医学の教室に所属する期間を用意すること
 - (iii) 基礎医学研修を開始する前に、臨床研修の到達目標の到達度の評価を行うこと
 - (iv) 臨床研修後、4年以内を目処に、作成した基礎医学の論文を、病院の研修管理委員会に提出すること
 - (v) 臨床研修修了後に、プログラム修了者の到達目標の達成度と臨床研修後の進路を管轄する地方厚生局に報告すること
- 募集定員は、原則1名

令和8年度基礎研究医プログラムの内定状況①

- 令和8年度基礎研究医プログラムは、30の大学病院において設置され、募集定員の総数は40名であった。
- 合計22名の応募があり、18名が採用見込みである（令和7年10月31日現在）。

	都道府県	大学病院の名称	募集定員	応募者数	採用内定人数
1	茨城県	筑波大学附属病院	1	0	0
2	栃木県	獨協医科大学病院	1	0	0
3	埼玉県	埼玉医科大学病院	1	0	0
4	千葉県	千葉大学医学部附属病院	2	0	0
5	東京都	順天堂大学医学部附属順天堂医院	2	3	2
6		日本医科大学付属病院	2	0	0
7		東京慈恵会医科大学附属病院	1	0	0
8		東京科学大学病院	2	1	1
9		慶應義塾大学病院	2	2	1
10		日本大学医学部附属板橋病院	1	2	1
11		帝京大学医学部附属病院	1	1	1
12	神奈川県	横浜市立大学附属病院	2	0	0
13		聖マリアンナ医科大学病院	1	0	0
14		北里大学病院	1	1	1
15	山梨県	山梨大学医学部附属病院	1	0	0

令和8年度基礎研究医プログラムの内定状況②

	都道府県	大学病院の名称	募集定員	応募者数	採用内定人数
16	愛知県	藤田医科大学病院	2	1	1
17	滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院	1	0	0
18	京都府	京都大学医学部附属病院	2	3	2
19		京都府立医科大学附属病院	1	1	1
20	大阪府	大阪大学医学部附属病院	2	1	1
21		大阪公立大学医学部附属病院	2	0	0
22		関西医科大学病院	1	1	1
23	兵庫県	兵庫医科大学病院	1	0	0
24	奈良県	奈良県立医科大学附属病院	1	1	1
25	和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院	1	1	1
26	岡山県	岡山大学病院	1	0	0
27	広島県	広島大学病院	1	1	1
28	福岡県	久留米大学病院	1	1	1
29	大分県	大分大学医学部附属病院	1	1	1
30	鹿児島県	鹿児島大学病院	1	0	0
計			40	22	18

令和5年度基礎研究医プログラムの修了状況①

- 令和5年度基礎研究医プログラムは、32の大学病院において設置され、募集定員の総数は40名であった。
- 合計19名が採用され、17名が臨床研修の到達目標を達成した上で修了している。

	都道府県	大学病院の名称	募集定員	応募者数	採用人数	修了人数
1	宮城県	東北大学病院	2	0	0	0
2	茨城県	筑波大学附属病院	1	3	1	1
3	栃木県	獨協医科大学病院	1	0	0	0
4	埼玉県	埼玉医科大学病院	1	0	0	0
5	千葉県	千葉大学医学部附属病院	1	1	0	0
6	東京都	慶應義塾大学病院	2	3	1	1
7		帝京大学医学部附属病院	1	0	0	0
8		東京科学大学病院	2	1	0	0
9		東京慈恵会医科大学附属病院	1	0	0	0
10		東京女子医科大学病院	1	0	0	0
11		日本大学医学部附属板橋病院	1	1	1	0
12		日本医科大学付属病院	1	1	1	1
13		順天堂大学医学部附属順天堂医院	2	1	1	1
14	神奈川県	聖マリアンナ医科大学病院	1	0	0	0
15		横浜市立大学附属病院	1	0	0	0
16	山梨県	山梨大学医学部附属病院	1	0	0	0
17	静岡県	浜松医科大学病院	1	0	0	0
18	滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院	1	0	0	0

令和5年度基礎研究医プログラムの修了状況②

	都道府県	大学病院の名称	募集定員	応募者数	採用人数	修了人数
19	京都府	京都大学医学部附属病院	2	3	2	2
20		京都府立医科大学附属病院	1	1	1	1
21	大阪府	大阪大学医学部附属病院	2	2	2	2
22		関西医科大学附属病院	1	2	1	1
23		大阪公立大学医学部附属病院	1	1	0	0
24	兵庫県	兵庫医科大学病院	1	1	0	0
25	奈良県	奈良県立医科大学附属病院	2	4	2	2
26	和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院	1	1	1	1
27	岡山県	岡山大学病院	1	0	0	0
28	広島県	広島大学病院	1	1	1	1
29	香川県	香川大学医学部附属病院	1	1	1	1
30	福岡県	久留米大学病院	1	1	1	1
31	大分県	大分大学病院	2	2	2	1
32	鹿児島県	鹿児島大学病院	1	0	0	0
計			40	31	19	17

➤ 令和5年度基礎研究医プログラム（令和7年3月）修了者17名の修了後の状況

- ・大学の基礎医学講座・教室などに所属し、基礎医学研究に従事している者 : 13名
- ・大学の基礎医学講座・教室などに所属していないが、基礎医学研究に従事している者 : 1名
- ・個人の事情により基礎医学研究に従事していない者 : 3名

➤ 基礎医学論文の提出者数：4名（令和6年3月修了者）

マッチングの対象外となる外国人留学生の内定状況等

令和 8 年度臨床研修開始予定の外国人留学生の人数

- 大学と派遣国政府との覚書等により、受入先の基幹型臨床研修病院が決定されることとなっており、かつ、将来的に出身国に帰国するものとされている外国人留学生については、通常のマッチングによらず採用できることとし、その場合は、各基幹型臨床研修病院の募集定員及び当該病院が所在する都道府県の募集定員上限とは関係なく受け入れることができることとしている。
- 令和 8 年度開始の臨床研修において上記の取扱を受ける外国人留学生について、大学から以下のとおり報告があった。

大学名	基幹型臨床研修病院の名称	外国人留学生の人数 (令和 8 年度臨床研修開始予定)
国際医療福祉大学	国際医療福祉大学成田病院（千葉県）	10 人
	国際医療福祉大学病院（栃木県）	3 人
	国際医療福祉大学熱海病院（静岡県）	2 人
	高木病院（国際医療福祉大学・高邦会グループ）（福岡県）	3 人

【参考】医師臨床研修部会報告書における記載内容

医師臨床研修部会報告書（平成30年3月30日）（抜粋）

（2）研究医養成との関係

- 基礎医学系の大学院博士課程入学者に占める医師免許取得者の割合は、近年増加傾向にあるものの、ほぼ横ばいであり、その割合を高める必要がある。また、基礎医学論文数については、諸外国（主に途上国）において基礎研究への取組が強化され、日米欧を急速に追いついてきているなど、我が国の国際競争力は相対的に低下傾向にあると考えられる。
- 一方、基礎医学に従事する予定の医師であっても、診療（健康診断等を含む。）を行う場合は、臨床研修を修了する義務がある。また、臨床研修病院の募集定員については、基礎医学に従事する予定の医師も含めて設定されている。
- このため、優れた基礎医学研究医を養成するため、基礎医学に意欲があり、基礎医学系の大学院に入学する医師を対象に、臨床研修と基礎医学を両立するための基礎医育成・研修コースを大学病院に設置することが望ましい。この基礎医育成・研修コースについては、募集定員を一般の募集定員とは別枠とし、選考を一般のマッチングとは分けて実施することとする。

【参考】省令施行通知における記載内容

省令施行通知（平成15年6月12日付厚生労働省医政局長通知）（抜粋）

- (ク) 過去直近5年間の研修医の採用実績が平均20人以上の基幹型臨床研修病院である大学病院（本院に限る。）は、次の手続を行うことを条件に、基礎医学に意欲がある医師を対象とした臨床研修と基礎医学を両立するための研修プログラム（以下「基礎研究医プログラム」という。）を設けることができること。
- ① 基幹型臨床研修病院の開設者は、基礎研究医プログラムの研修を開始しようとする年度（以下「開始年度」という。）の前々年度の10月31日までに、プログラム設置に関する届出書（様式A-7-2）を当該病院の所在地を管轄する都道府県知事に提出すること。
 - ② 基礎研究医プログラムは次に掲げる設置要件を満たすものであること。
 - (i) プログラム開始時に、所属する基礎医学系の教室を決定し、オリエンテーションを行うこと。
 - (ii) 選択研修期間に、16週以上、24週未満の基礎医学の教室に所属する期間を用意すること。
 - (iii) 基礎医学研修を開始する前に、臨床研修の到達目標の到達度の評価を行うこと。
 - (iv) 臨床研修後、4年以内を目処に、作成した基礎医学の論文を、病院の研修管理委員会に提出すること。
なお、病院は、提出された基礎医学の論文について、基礎研究医プログラム研修修了者基礎医学論文提出報告書（様式A-29）を、提出を受けた年度の次年度の4月30日までに管轄する地方厚生局健康福祉部医事課に提出すること。
 - (v) 臨床研修修了後に、プログラム修了者の到達目標の達成度と臨床研修後の進路について、基礎研究医プログラム研修修了者報告書（様式A-26）を、4月30日までに管轄する地方厚生局健康福祉部医事課に提出すること。
 - ③ 届出書には、当該病院の基礎研究医プログラムが②の要件及び⑤の基準を満たしていることを証明する書類を添付すること。
 - ④ 都道府県知事は、①の届出内容を届出のあった年度の11月30日までに厚生労働大臣に情報提供すること。
 - ⑤ 基礎研究医プログラムの届出に当たり、募集定員は、原則1人とするが、当該プログラムを実施する施設が次の基準を全て満たしている場合は最大5人まで、1つ基準を満たしていない場合は最大3人まで、3つ以上基準を満たしていない場合は0人とする。こと。
 - (i) 基礎系の教室を通じて基礎医学研究歴7年以上の複数の指導者（医師）が指導できるキャリア支援体制が確保されている。
 - (ii) 当該プログラムの修了者に魅力あるキャリアパスを複数提示している。
 - (iii) 論文指導を行う環境があり、学会発表の機会が用意されている。
 - (iv) 年間受託している基礎医学分野の科学研究費助成事業と国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）対象事業の予算の合計が8,000万円を超えている。
 - (v) 基礎医学分野でImpact Factor 15以上の論文が過去3年間にある。
 - ⑥～⑦ （略）
 - ⑧ 都道府県知事は、当該プログラムの研修医を募集する年度の4月30日までに地域医療対策協議会の意見を聴いた上で、当該プログラムの募集定員を定め、当該病院に通知すること。
 - ⑨ 当該プログラムの研修医の募集及び採用の決定は、医師臨床研修マッチング前に行うことができること。